

『魅せる』『伝わる』色彩コミュニケーション!!

デザインに「メリハリ」を付けよう!

広告の2大要素と言えば、「写真」と「キャッチコピー」。パッと見の印象はこの2つで決まります。他の部分を読んでもらえるかどうかは写真とキャッチコピー次第。「プレゼンテーションのスライド制作や、チラシのデザインが上手くまとまらない……」と思うことはありませんか?そこで見栄えを大きく変化させるために大切となってくるのが「メリハリ(減り張り)」です。メリハリを付けることでレイアウトが単調になることを抑えることができます。また、画像や文字の要素の優先順位が明確になり、視認性・可読性を上げることができます。

そこで今回は、デザインにおけるメリハリの出し方についてご紹介いたします。

■メリハリを付けるには文字の色や大きさを変えることが重要!

情報優先度が高いものほど、文字サイズを大きくしたり、基本となる色を決め、情報優先度が高い部分ほど鮮やかさや明るさを大きくするとより目立たせることができます。

Before

ケーキ食べ放題



90分 1,500円



補色で更にメリハリを!

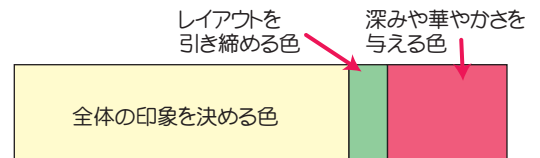
色同士の関係で代表的なものに「補色」というものがあり、互いの色を最も目立たせる色の組み合わせのことを言います。

この「補色」を利用することで、伝えたい部分を目立たせることができます。さらに、「配色の黄金比率」と言われる70%:25%:5%の割合で3つの色を組み合わせると、バランスの取れたデザインになりますよ。

代表的な補色の組み合わせ



色の割合

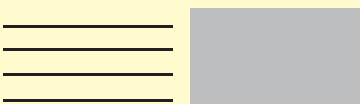


After

ケーキ食べ放題



90分
1,500円



▲文字の大きさ変更+補色

ケーキ食べ放題



90分
1,500円



▲補色を利用したデザイン

ケーキ食べ放題



90分
1,500円



▲色の比率を利用したデザイン

デザインの種類

今回のテーマ：
「配置と色で考えるレイアウト」

表面で紹介したメリハリをつけることと同時に、文字の色やレイアウトに気をつけるとより効果を発揮することができます。情報をいかに正確かつ鮮明に伝えられるかが、レイアウトの良し悪しを左右します。では実際に目的や要素を踏まえたレイアウトを試してみましょう！

■写真のイメージを文字で際立たせるレイアウト

Before



◀ 写真を背景に大きく使っている、タイトルの色や形によっては伝えたい内容や雰囲気が分かりにくくなることも…。

文字の色や書体を変えただけで、読みやすさやイメージの伝わり方が変わってきます。

After

文字の色や形でイメージ演出



文字に動きを付けると、快活なイメージに！

■複数の情報を整理して分かりやすくしたレイアウト

Before



▲ 写真や文字がバラバラな配置になっているので、情報が捉えにくい。

それぞれの文字の両端や画像の大きさなどを揃えることでスッキリ見やすくなります。

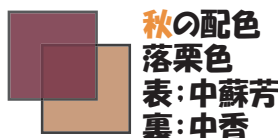
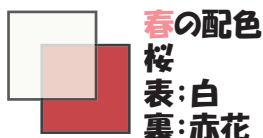
After

位置を揃えて統一感を



イロイロ雑学

平安時代、宮中女性は十二単などの着物の装束の表地と裏地を重ねたときにできる混色を「重色目・襲色目（かさいろめ）」とされ、季節に応じて決まり事や名称が伝えられています。当時の絹の衣とは非常に薄く裏地の色が薄く表によく透けるため、透けた裏地の色まで考慮する、その美意識の高さには敬意を表したいですね。



色彩を使った印刷物で、より良いコミュニケーションを！

次回も

Let's カラコミュ！！